

# 富山県立大学ニュース

平成29年5月発行  
富山県立大学学生委員会

NO.115

## 平成29年度入学式 4月6日(木)



入学式の様子



新入生代表誓詞



### CONTENTS

- News Digest
- 学生レポート
- 新任教員紹介
- INFORMATION など

## ポートランド州立大学 (PSU) 語学研修

平成29年2月16日(木)～3月11日(土)までの24日間、本学大学生7名が米国オレゴン州ポートランド市で実施された語学研修に参加しました。実践的な英語力を身につける授業や、ボランティアなどの好きなテーマを選択して体験学習を中心に受講する授業に加え、期間を通してホームステイをする英語一色の毎日を通して、学生は英語力を向上させるだけでなく、米国文化や社会についてもより理解を深めました。参加学生からは、「ホームステイや現地学生との交流を通して、積極性や自立性が身に付いた」などの感想があり、今後の学生生活やグローバル化する社会に適応できる人材になるためのよい機会になっています。

なお、本研修は、夏期(8～9月)も実施しており、昨年度は8月18日～9月11日に実施され、7名が参加しました。



## 学内合同企業説明会

3月2日(木)・3日(金)の2日間にわたり、本学大谷講堂で、学内合同企業説明会を開催しました。この企業説明会は、平成30年3月卒業・修了予定の学生が、企業の業種・職種等について研究し、企業の採用スケジュールなどについて直接企業の人事担当者から情報収集を行うもので、2日間で延べ309名の学生が参加しました。

企業は1日目が県外企業を中心に80社、2日目は県内企業を中心に80社、計160社が参加しました。

スーツに身を包んだ学生達は、熱心に各企業のブースを回り、人事担当者の説明を聞き、積極的に質問していました。

## 中国大連トレーニー派遣

北陸銀行主催で中国大連へのトレーニー派遣が平成29年3月15日(木)～18日(土)に実施されました。本学からは2名が参加し、富山大学・金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学の学生とともに、日本経済新聞社でのセミナー、YKK、ソフトバンクの視察や、大連理工大学生との交流会、旅順視察などを行いました。参加した学生からは、「自分のもつ中国に対するイメージが大きく変わった」「中国で働く日本の方や、日本を相手に仕事をする中国の方の話聞き、自分の将来像の幅が大きく広がった」という感想が寄せられ、実りある研修となりました。



## 平成28年度学位記授与式

3月18日(土)、アイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、平成28年度富山県立大学学位記授与式が行われました。式では、石塚 勝 学長が「社会に貢献する立派なエンジニアリサーチャーとして大きく成長することを祈念する」と式辞。続いて寺井 幹男 理事長が「自分の長所を伸ばし、今後の人生を切り拓いていただきたい」と挨拶を述べました。

また、寺林 敏 富山県副知事が「夢や高い志、情熱を持って、果敢にチャレンジし、全国や世界の舞台で活躍していただきたい」と知事の祝辞を代読されました。

なお、各学科において成績優秀と認められた学生1名に、学長からベストチューデント賞が贈られました。受賞された方々は、右のとおりです。

工学部機械システム工学科	加藤 巧也
工学部知能デザイン工学科	田中 祥太
工学部情報システム工学科	森 永裕矢
工学部生物工学科	二永 貴
工学部環境工学科	大野 紘輝

## 平成29年度入学式

4月6日(木)、アイザック小杉文化ホール・ラポールにおいて、平成29年度富山県立大学入学式が行われ、450名の新しい学生を迎えました。式では、石塚 勝 学長が、「初心を忘れず、社会に積極的に貢献する夢や志を持って、大学生活を送られることを祈念する」と式辞。続いて寺井 幹男 理事長が、「こつこつと努力し、自己研鑽に努めていただきたい」と挨拶を述べました。

また、石井 隆一 富山県知事が「旺盛な好奇心をもって新たな課題にチャレンジし、学生生活を実り多いものとして下さい」と祝辞を述べられました。

最後に工学部の佐伯真彬さん、大学院の二永 貴さんが新入生を代表して誓詞を述べました。



## 本学教員等の受賞について

知能デザイン工学科 澤井 圭 講師

第17回 公益社団法人 計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会 SI2016 優秀講演賞 H28.12.18受賞  
「移動ロボットの遠隔操作を考慮した移動型中継端末による通信品質維持・管理手法の開発」

<研究の概要等>

被災地での情報収集活動では、移動ロボットの利用が進められています。しかし、工場や地下施設等の閉鎖空間における移動ロボットの無線遠隔操作利用では、屋内外での通信経路構築に課題が残されています。本研究では、閉鎖空間の内外で移動ロボットと操作者間ネットワークの通信品質維持・管理を行う移動型中継端末を用いた通信経路構築手法の提案を行い、提案手法の有効性・実利性については実環境での評価実験を通じて確認しました。

生物工学科 加藤 康夫 教授

日本農芸化学会 平成29年度大会トピックス賞 H29.3.19受賞

必要最小限の土壤微生物（エレメンタル土壤微生物）の有機物耐性 [共同研究者として受賞]

## 本学学生等の受賞について

受賞者	学科等	学会賞名	受賞年月	指導教員
木下愛佳子	知能デザイン工学専攻 前期課程1年	2016年度 電気学会 優秀論文発表賞	2017年3月	准教授 高野 博史

## 学生 レポート

### ドイツ短期留学を経験して

大学院生物工学専攻前期課程 酵素化学工学講座 福田 祐三

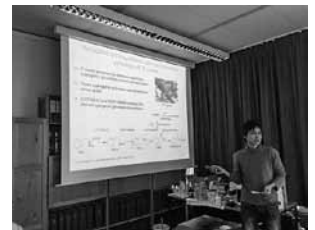
私は、平成28年8月から10月、平成29年1月から2月の計5か月間、ドイツ、ビーレフェルト大学化学部ハラルド・グレーガー教授の研究室に短期留学させていただきました。

私は、植物由来のシトクロムP450が触媒するアルドキシムの脱水反応の基質特異性と立体選択性を明らかにし、細菌由来の酵素と比較する研究を行っており、ドイツでは研究に必要な基質の化学合成法を学ぶべく留学に行っていました。

これまでに他の研究室で実験をした経験がなく、ましてや外国の研究室で実験したのは初めての経験で、危機管理や時間の感覚に違いを感じました。本学でも同様の講習と指示を受けていますが、どの学生も3時間の安全講習を受けなければ実験室に入ることが出来ず、安全上夜までには実験を終えなければならないため、実験できる時間が限られていました。制約された時間内で、ドイツの学生は着実に成果を出していました。本学では、時間を自由に使うことが認められていますが、ドイツの研究室のように時間の制限の中から集中的に研究する感覚が薄かったことに気づかされました。彼らを見習い実験に取り組めたことが成果に繋がったと思いますし、これからの自分に必要なスキルに気づけたことは貴重な経験でした。さらに、実験の方針や結果、お互いの国の生活様式の違いについて大学の学生や先生と会話やメールを英語で交換することにより、外国語を発信する感覚が身についたことは大きな収穫でした。

この留学を通して、海外の学生との専門性や語学力、異文化に対する考え方等あらゆることに差を感じました。このように気づけるのは現地で生活しなければ得られなかったことだと思うので、良い刺激になりました。

最後に、ドイツ留学をするにあたり、お世話になった日独の関係者の皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



### 中国・大連トレーニーに参加して

機械システム工学科4年 本野 郁夫

私は、平成29年3月15日(水)から3月18日(土)までの4日間、中国の遼寧省の大連市を訪れる「大連トレーニー研修」に北陸銀行主催のもと参加させていただきました。この研修を通して、私は「百聞は一見に如かず」という言葉の正しさとその大切さを実感することが出来ました。研修中、日本経済新聞大連支社で記者をなさっている原島さんのセミナーを受ける機会があり、自分たちからの数多くの様々な質問にも非常に丁寧に受け答えしていただきました。自分も、社会人の一人として社会に出るにはまだまだ知識が不足しており、より多くの知識を養うにはどうしたらいいのかという質問を投げかけたところ、近年ではネットやマスコミから時間や場所を問わず様々な情報を得ることが容易になりましたが、大事なことは自分自身の目で見たり実際に体験したりして得ることが出来る生の情報が最も重要であり、そのために原島さんも直接中国各地を回っておられるそうです。この研修にむけて自分なりに大連の歴史や現状を調べましたが、実際に現地を訪れて得ることが出来る情報は非常に多く、ネットやメディアでは中国は政治面であり良く扱われていないため、私も中国に対して良いイメージを持っていませんでしたが、大連理工大学の学生を始めとした現地の人々は私達日本人に対して友好的に接して下さり、中国のイメージが大きく変わりました。今回の体験は非常に貴重なものであり、これからの学生生活及び社会に出たあとも日本国外の私が今までに訪れたことのない場所を訪れて自分の見聞を深めてより大きな人間になりたいと考えています。



## 博士の学位授与報告

3月18日(土)の学位記授与式において、博士(工学)の学位を授与された方の氏名と論文題目は次のとおりです。

### 【課程博士】

(機械システム工学専攻) 水本 和也

射出成形ガラス繊維強化ポリアミド66複合材料の力学特性に関する研究

(生物工学専攻) 陶 娟

Enzymatic Conversion of Cellulose Pretreated by Amino Acid Ionic Liquid/Cosolvent System

(アミノ酸型イオン液体/共溶媒系を用いたセルロースの酵素変換)

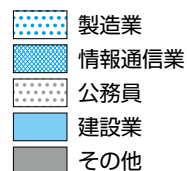
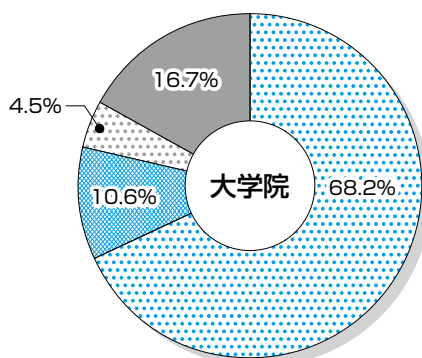
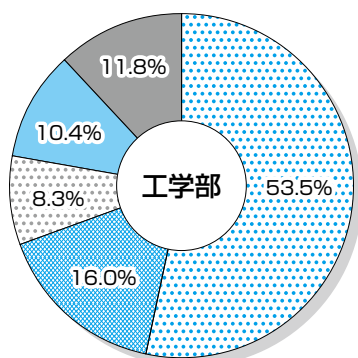
## 平成28年度卒業・修了生進路状況

(平成29年3月31日現在)

	卒業・修了者数	就職者数	進学		
			うち県内就職	進学者数	うち本学大学院
工 学 部	223 (32)	144 (28)	68 (16)	79 (4)	71 (2)
機械システム工学科	52 (1)	32 (1)	15 (0)	20 (0)	18 (0)
知能デザイン工学科	49 (4)	30 (3)	16 (3)	19 (1)	18 (1)
情報システム工学科	44 (2)	22 (2)	9 (1)	22 (0)	20 (0)
生物工学科	38 (20)	28 (17)	11 (9)	10 (3)	8 (1)
環境工学科	40 (5)	32 (5)	17 (3)	8 (0)	7 (0)
大学院・博士前期課程	67 (8)	66 (8)	20 (6)	0 (0)	0 (0)
機械システム工学専攻	20 (0)	20 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)
知能デザイン工学専攻	17 (1)	17 (1)	4 (1)	0 (0)	0 (0)
情報システム工学専攻	17 (2)	17 (2)	8 (2)	0 (0)	0 (0)
生物工学専攻	5 (5)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
環境工学専攻	8 (0)	7 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)

( ) は女子内数

### 【業種別就職状況】



## 人事消息

異動区分	職	氏名	異動区分	職	氏名
就任 (29.4.1)	学生部長 地域連携センター所長 キャリアセンター所長	中島 範行 高橋 剛一郎 大島 徹	昇任 (29.4.1) (つづき)	工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部講師 事務局次長・経営企画課長 経営企画課副主幹	宮島 敏郎 中村 正樹 古谷 元介 星川 圭介 野村 泰治 大嶋 元啓 廣山 義雄 山崎 系子
新規採用 (29.4.1)	(工学部) 工学部教授 工学部教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部准教授 工学部講師 工学部講師 工学部講師 工学部講師 工学部講師 工学部助教 工学部助教 工学部助教 工学部助教 (看護学部開設準備担当) 教授 教授 助教	奥原 浩之 占部 大介 杉山 弘晃 谷山 田村 正樹 鈴木 木浩司 伊東 聡暢 脇坂 慎 日比 拓 大島 拓 碓井 工リザベス 寺島 修 佐保 賢志 森川 大輔 小島 千昭 河西 文武 清家 美帆 玉本 拓巳 木下 史也 北岡 直樹 竹内 登美子 岡本 恵里 青柳 寿弥	転入 (29.4.1)	教務課主幹・課長補佐・学生係長 教務課副主幹・学生募集係長 教務課情報研究係長 経営企画課副主幹 経営企画課主任 経営企画課主任 教務課主任 経営企画課主事 教務課主事 教務課主事 教務課主事	長谷田 三千代 土居 洋子 垣内 弥幸 桜川 裕子 高森 寛浩 能登 和浩 水の上 奈津紀 吉田 真実 森本 中広 田本 慎 永井 大志
昇任 (29.4.1)	工学部教授 工学部教授 工学部教授 工学部教授 工学部教授 工学部教授 工学部教授	戸田 晃一 鈴木 真由美 真田 和昭 畠 俊郎 生城 真一 米田 英伸 竹井 敏敏	退職 (29.3.31)	工学部教授・学生部長 工学部准教授 工学部准教授	中村 清実 バドューチ ドミニク 松本 和憲
			転出 (29.3.31)	教務課主幹・課長補佐 教務課学生募集係長 教務課情報研究係長 経営企画課副主幹 経営企画課主任 教務課主任 経営企画課主事 教務課主事 教務課主事	中谷 理子 岩城 弘幸 上田 明美 林修 二子 松木 綾子 昇陽 子 岡本 美貴 長井 由香 源卓 也

## ●新任教員紹介●



### 電子・情報工学科 教授 奥原 浩之

4月より電子・情報工学科情報基盤工学講座に教授として着任いたしました。昨年度末までは、大阪大学大学院情報科学研究科情報数学専攻計画数学講座の准教授として勤務し、研究・教育活動に従事して参りました。専門は数理工学、オペレーション・リサーチ、データサイエンスなどの理論の研究や、ICTによるビッグデータへ対応できる技術の開発です。講義では「意思決定とデータ科学」を担当いたします。研究室での研究・教育活動を通じた地域・社会への貢献にも取り組む所存でございます。ご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



### 生物工学科 教授 占部 大介

4月より生物工学科生物有機化学講座の教授として着任しました。私は2006年に名古屋大学大学院生命農学研究科で博士(農学)を取得した後、ハーバード大学で博士研究員、東京大学大学院薬学研究科で助教・講師を務め、本学に参りました。有機合成化学を専門としており、複雑な構造と重要な生物活性を持つ天然有機化合物の全合成研究に取り組んで参りました。これまでの経験と最新のテクノロジーを融合させ、本学では新しい研究領域の開拓に挑戦したいと思っています。また、自ら進んで困難に立ち向かえる勇気ある学生を育てられるよう精一杯努力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 教養教育 准教授 杉山 弘晃

4月に教養教育の数学担当として着任しました。出身は東京ですが、博士号取得後はイタリアや京都などでの研究生生活も経験し、富山での生活は合計4年目になっています。専門分野は素粒子物理学理論なので数学自体の専門家ではありませんが、数学を活用する専門家と言えるかもしれません。素粒子の中でも特にニュートリノに注目した研究を行っているので、神岡宇宙素粒子研究施設と関わりの深い富山で教育・研究活動が続けられる事をうれしく思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 教養教育 准教授 谷田 博司

この4月より教養教育の准教授として着任をいたしました。東北大学の大学院理学研究科にて博士(理学)を取得後、広島大学の大学院先端物質科学研究科の助教として10年間、教育・研究活動に従事して参りました。専門分野は物性物理で、これまで基礎研究としての物性評価や物質開発、或いは装置開発など、「ものづくり」に取り組んでまいりました。今後はここ富山県立大学にて、教育や研究を通じて、また新しい「ものづくり」を通じて、地域社会の発展に微力ながらも貢献していきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



### 教養教育 准教授 山村 正樹

平成29年4月より、教養教育化学担当の准教授として着任いたしました。私は富山県で生まれて、東京大学に入学以降は関東ですと学習・研究をしてきました。この度生まれ故郷である富山の教育・研究に携われることになり、大変喜ばしく感じております。これまでに、ケイ素やリン原子を含んだ有機化合物の開発とこれらを用いた超分子という、基礎化学の研究を行ってきました。これからは地域に根ざした研究を意識して試行錯誤していきたい所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



### 教養教育 准教授 鈴木 浩司

4月より教養教育の生物学担当として着任しました。専門は植物系統分類学で、被子植物の多様性や系統関係について研究しています。主に野外に出て様々な植物の観察・調査を行いますが、DNA情報などを用いた分子系統学的研究も行っています。私が京都大学院生のころは、指導教官であった故河野昭一先生（68～84年まで富山大助教授・教授）に連れられて富山県内各地でカタクリやチゴユリ、ブナ林などの調査を行い、植物の不思議さ・面白さを教えていただきました。今度は私が皆様に植物（生物）の面白さを少しでもお伝えできたらと思います。



### 知能デザイン工学科 准教授 伊東 聡

4月より知能デザイン工学科マイクロ・ナノシステム工学講座に准教授を拝命いたしました。2011年に静岡大学で博士（工学）を取得後、東北大学大学院工学研究科・助教を経て、本学に着任いたしました。専門分野は精密工学および計測工学であり、特にナノ精度の寸法および形状の精密計測のためのセンサや計測システムの開発と校正に関する研究を中心に取り組んでいます。県立大学での教育と研究を通じて、富山県の益々の発展に貢献できるよう尽力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



### 環境・社会基盤工学科 准教授 脇坂 暢

4月より環境・社会基盤工学科に准教授として着任いたしました。東北大学工学研究科にて博士（工学）の学位を取得した後、イリノイ大学アーバナシャンペーン校（博士研究員）、山梨大学クリーンエネルギー研究センター（産学官連携研究員）、同燃料電池ナノ材料研究センター（助教、講師、准教授）にて研究と教育に携わってきました。燃料電池反応に関する研究や水と芳香族有機分子を電解水素付加させて水素を貯める研究に取り組んでいます。富山での水素社会実現に向け、教育と研究に邁進する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



### 生物工学科 准教授 日比 慎

本年度4月より工学部生物工学科酵素化学工学講座の准教授として着任致しました。2003年に北海道大学にて博士（理学）を取得した後、バイオ関連企業で3年間、京都大学大学院農学研究科で11年間の研究活動を行ってきました。専門は応用微生物学という分野でして、微生物の持つ優れた能力を探し出し、人の役に立つ形で活用していきたいと考えています。自然環境に恵まれ、また日本酒醸造などの発酵産業の盛んなここ富山の地であれば、きっと素晴らしい微生物に出会えると期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。



### 生物工学科 准教授 大島 拓

2017年4月に工学部生物工学科応用生物情報の准教授として着任しました。平成9年に博士号を取得後、大腸菌、枯草菌等の微生物のゲノムがどのように機能するかについて研究を行ってきました。近年の技術革新と共に、ゲノム研究のレベルはどんどん上がっており、非常に面白い状況になっていると思っています。富山県立大学の学生さんたちと一緒に、微生物ゲノムを様々な角度から解析し、理解し、改変して、面白いことをしたいと思っています。よろしくお願いいたします。



### 教養教育 講師 碓井エリザベス

4月より教養教育の英語の講師として着任しました。1989年、オーストラリアより富山に英会話学校勤務の為、来日。20年以上に渡り、県立大を含む大学、短大、高校で非常勤講師として勤務し、富山は私の故郷となりました。また、異文化理解を促進する、多くの団体やイベントに携わってきました。ESP(English for Specific Purposes = 学術英語)に興味があり、県立大では、学生達が、中学・高校で学んできた英語の基礎を利用し発展させ、現在の世界情勢への理解を深めつつ、英語コミュニケーションを習得できるよう努めていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



### 機械システム工学科 講師 寺島 修

はじめまして、4月より機械システム工学科の設計生産工学講座に講師として着任いたしました寺島修と申します。高校卒業までを過ごした北陸の地に再び戻り、研究と教育に従事できることを大変嬉しく思います。さて、私は高校卒業後、東北大学、東北大学大学院に進学し、その後企業と大学勤務を経て本学に着任いたしました。本学では騒音・振動・流れの計測・解析・制御技術に関する研究を行う所存です。地域・社会・産業に貢献し、皆様の生活をより快適にするための研究を行って参りますので、ご指導のほどどうぞよろしくお願いいたします。



### 知能デザイン工学科 講師 佐保 賢志

4月より知能デザイン工学科に講師として着任致しました。2013年に京都大学で博士（情報学）を取得後、同大学研究員を1年、立命館大学の助教を3年勤めて参りました。専門は主にレーダーや超音波による移動体計測のための信号処理でして、自動運転やロボットなどの最新技術への貢献を目指しております。雄大な立山連峰を眺めることでスケールの大きな新しい研究が次々と思いつき、心を躍らせているところです。富山に、そして世界に欠かせない教育者・研究者となれるよう精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



### 知能デザイン工学科 講師 森川 大輔

4月より知能デザイン工学科知的インタフェース工学講座に講師として着任いたしました。大学4年間、博士前期課程2年間、博士後期課程3年間の計9年間を富山県立大学で過ごし、2013年に博士（工学）の学位を取得しました。その後4年間北陸先端科学技術大学院大学に助教として勤務し、この度母校に戻ってまいりました。なぜ音が2つの耳だけで立体的に聴こえるか？どうすれば立体的な音を聴かせられるか？ということを中心に研究を行っています。教員としてだけでなく大学のOBとしても頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



### 電子・情報工学科 講師 小島 千昭

2017年4月に工学部電子・情報工学科に講師として、東京大学情報理工学系研究科より着任いたしました。専門はシステム制御理論であり、最近では超スマート社会と呼ばれる電力、エネルギー、交通、水道など異種のネットワークがインターネットで連携し便利で安心な未来社会の構築を目指しています。富山県は豊かな自然と水に囲まれた恵まれた環境にあるので、海洋、河川や農業も取り込んだ新しい超スマート社会を実現したいと思っております。着任してからわからないことばかりですが、多くのご指導をいただけますようお願い申し上げます。



### 医薬品工学科 講師 河西 文武

今年度より医薬品工学科、バイオ医薬品工学講座の講師に着任しました、河西と申します。2010年に信州大学で学位(農学)を取得後、自治医科大学で博士研究員、助教を経まして、昨年度から博士研究員として本学に参りました。これまで発生生物学、循環器内科学、炎症・免疫学の分野を中心に研究を行い、特に病態モデル動物作製と病態評価を得意としております。今後これらの経験を活かし、無菌性炎症を制御する薬剤の同定や新規のバイオ医薬品製造方法の開発を行っていきたく思います。みなさまどうぞよろしくお願い致します。



### 機械システム工学科 助教 清家 美帆

4月より機械システム工学科に助教として着任いたしました。2015年に金沢大学で博士(工学)を取得後、同大学で博士研究員として勤務し、2016年4月から12月までの9か月間台湾National Science and Technology Center for Disaster ReductionにてVisiting Assistant Researcherとして勤務し、火災防災について「教育」と「研究」に従事してまいりました。主に、トンネル火災防災、リスク解析等研究分野に取り組んでいく予定です。これまでの経験を活かし、教育と国際視野の拡充、地域社会に貢献してまいりたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



### 知能デザイン工学科 助教 玉本 拓巳

4月より、知能デザイン工学科知能システム工学講座に助教として着任いたしました。本年3月に東海大学にて博士(工学)の学位を取得しました。専門はロボット工学で、様々な機構を組み合わせ応用することで、エネルギー効率の向上や柔軟性を持たせるなど、機構に注力したロボットの研究に取り組んでいます。キャリアの第一歩を富山県立大学で踏み出せることをとても嬉しく思います。これからも学生と共に成長し、授業や研究を通して様々なことを伝えるとともに、地域社会に貢献したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



### 電子・情報工学科 助教 木下 史也

2017年4月より、電子・情報工学科の助教として着任いたしました。2016年に名古屋大学大学院情報科学研究科にて博士(工学)を取得後、名古屋大学未来社会創造機構の研究員として研究を行って参りました。生体情報工学の分野を専門としており、映像酔いの量的評価に関する研究や運転時の体調急変検知システムの開発などに従事してきました。最近では医療ビッグデータを用いた地域貢献活動に興味を持っております。学生の皆様の目線に立った教育と研究指導を行いたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



### 生物工学科 助教 北岡 直樹

4月より生物工学科植物機能工学講座に助教として着任しました。高岡市に生まれ、富山県立高岡高等学校を卒業するまで富山県で過ごしました。北海道大学にて博士(農学)を取得後、米国アイオワ州立大学と東北大学で博士研究員として研究活動に従事しました。有機化合物が植物体内でどのように作られるかを解明することを目指し、これまでは研究を行ってきました。今後は「ものづくり」への応用を目指すとともに、科学の面白さを積極的に発信したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

加えて、平成31年4月に設置予定の看護学部の開設準備担当として、新たに3名が着任しました。



教授 竹内登美子



教授 岡本 恵里



助教 青柳 寿弥

## CAMPUS NEWS

### ■授業料(前期分)の振込期限・口座引落日は5月29日(月)です。

(1年生・卒業延期者) 5月初旬にお送りした振込用紙で振込みをお願いします。

(2年生以上) 口座引落のため、引落日前日までに、ご登録頂きました口座に入金をお願いします。

【 授業料(工学部・大学院)： 前・後期各 267,900円 】

※上記授業料に加え、北陸銀行以外の金融機関からの振込・引落には、所定の手数料(在学生・保護者のみなさまのご負担となります。)が必要です。

問合せ先：事務局経営企画課財務係 TEL：0766-56-7500(内線236)

# SCHEDULE 平成29年度

		工 学 部	大 学 院
6月	1(木) 開学記念日	1(木) エコツアー 8(木) 進路ガイダンス	
		17(土) オープンキャンパス 19(月)、20(火) 特別授業(補講)	
		下旬 編入学試験	
			3(月) 工学研究科入学者選抜
7月	上旬 サークルリーダー研修会	3(月)、7(金)、8(土)、18(火)、19(水) 特別授業(補講)	
8月	5(土) ダ・ヴィンチ祭	5(土) オープンキャンパス 2(木)~10(木) まとめ又は授業及び試験 10(木) 前期授業終了	
		21(月)~9(8金) 集中講義	22(火)、23(水) 工学研究科入学者選抜
			26(土)、27(日) 保護者向けキャリア支援セミナー

## CAMPUS NOTE

### アイスホッケー部



アイスホッケー部は、4月から9月までは毎週火曜日、金曜日に体育館のピロティで練習し、10月から3月までは毎週水曜日に富山のリンクで氷上練習をしています。部員は20人程で活動しており、部員全員が大学から始めた初心者です。部員は少ないですが、全員で部を盛り上げながら、マネージャーも一緒になって活動しています。北信越アイスホッケーリーグ部昇格を目指して日々練習に励んでいます。練習後は、みんなでご飯に行ったり、飲み会やBBQなど季節ごとに行事を行い、練習だけでなく、楽しく活動しています。また、他大学との交流もしており、特に富山大学とは一緒に練習や試合をしています。アイスホッケーと聞くと氷上の格闘技とも言われており、怪我をよくするようなイメージがあると思いますが、防具をしっかりつけているため、よっぽどのことがない限り、怪我をすることはありません。部員全員が初心者ということもあり、誰でも馴染みやすい雰囲気です。大学でスポーツしたいと思ってる方、何か新しいことに始めようと思ってる方、まずは気軽に見に来てください！是非一緒に楽しく活動しましょう！

(部長 生物工学科3年 安藤 貴則)



この用紙は資源保護のため、インキは植物油インキを使用しています。

再生紙を使用しています。

### 編集後記

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。この春から編集後記を担当することになりました学生部長の中島です。どうぞよろしくお願い致します。

大学の周りに咲いていたサクラの花が梨の花へと変わり、木々の緑も日に日に鮮やかさを増してきています。この4月に本学は、新入生450名(学部361名、大学院89名)を迎えました。構内で教室を探しまわる、どこか頼りなさそうな学部新入生の姿に初々しさを感じています。一方、大学生協や学生会主催の新入生歓迎会への出席率が非常に高く、新入生への期待が高まっています。

さて、大学の変化が始まりました。開学当初、工学部2学科でスタートした本学も、情報システム工学科を電子・情報工学科に、環境工学科を環境・社会基盤工学科に拡充し、医薬品工学科を新設した現在では、機械システム工学科、知能デザイン工学科を加え、工学部6学科・大学院工学研究科5専攻体制へと大きく変貌を遂げています。学部新入生の定員も昨年から80名、一昨年から100名を増員し、330名となりました。教員も20名増え、計131名になっており、教育・研究の充実が図られています。さらに、平成31年に看護学部(定員120名)が開設されますと1学年の定員は450名の大所帯となります。

学生や教員の増加に対応するため、大学の西側に仮校舎3棟を増設しました。体育館下には、談話・学習室とロッカー室、女性用のパウダールームも新設しました。今後、生協の購買部を移転させ、食堂の拡充を図る予定にしています。また、来年(30年)4月には、知能デザイン工学科を「知能ロボット工学科」に再編拡充、2年後(31年)には看護学部の開設、3年後(32年)には新校舎と新学生会館の新築を控え、「ドンドンマスマス」大学が充実してきます。

今まで本学には校歌がありませんでした。来年の春をめどに校歌の制作を計画しています。式典や学園祭、サークル活動などで口ずさんでもらえ、長く歌い継がれる校歌が出来ることを願って準備を進めていますので、皆様のご協力もお願いします。

(学生部長 中島 範行)